

# 令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	126	学校名	仙台市立泉松陵小学校	校長名	内田 裕子
------	-----	-----	------------	-----	-------

## 1 取組のテーマ

『けやき山活動 ～森林保全活動と環境問題学習～』



## 2 取組の紹介

### (1) 緑化活動 ～けやき山活動を通して～

森林インストラクターの方々と一緒にけやき山（校庭の南側にある人工林）を散策しながら、現在のけやき山の問題点や課題を見付けました。森林インストラクターの方より、木々の特徴、生き物の習性、植物の特性などを学びました。また、活動グループごとに今自分たちにできることを考え、けやき山がよりよくなるように活動しました。自分たちが活動したことで他の学年がけやき山に入りやすくなったり、学習に利用してくれたりするが5年生の喜びになっています。また、授業参観の機会にそれぞれのグループが活動のまとめを発表し、保護者にも自然の大切さや自分たちの活動を伝えることができました。

#### 【グループごとの活動】

- |                           |                        |
|---------------------------|------------------------|
| ○除伐グループ（危ない枝、不要な木の伐採）     | ○柵作りグループ（遊歩道沿いの柵作り）    |
| ○葉っぱ遊び図鑑グループ（葉っぱ遊びの図鑑作り）  | ○階段グループ（階段の補修・整備）      |
| ○鳥の巣箱グループ（巣箱作り・設置）        | ○遊具撤去グループ（経年劣化した遊具の撤去） |
| ○ロープワークグループ（ロープ遊びや結び方を学ぶ） | ○花壇グループ（花壇作り・花植え）      |



鳥の巣箱



除伐



ワークロープ



階段

### (2) 調べ学習

けやき山活動を終え、自分たちの生活と森林の関わりや森林の働きについて、各自テーマを設定し調べ学習を行いました。その後、森林に関わる環境問題、そして森林以外の今日の世界が抱える様々な環境問題について知り、児童が興味を持ったことについてさらに深く調べることにしました。個人での調べ学習後、グループで、課題に対する原因や対策方法について考えを出し合い、共有し、自分たちにできることを考えました。

### (3) 取組の成果（児童生徒の変容）

けやき山での実践を通して、人間と自然が共存するためには、必要に応じて手入れをしたり、上手に自然の物を利用したりすることも重要だということに気付くことができました。また、自分たちが住む地球は様々な環境問題を抱えていることを知り、問題点や課題について調べ、今の自分たちにできることについて考えました。学習を通して、たくさんの方が関わり、協力することで自然を守っていることを実感することができ、自然と人の関わり方について考えを深めることができました。